

報道関係者各位

三井不動産レジデンシャル株式会社

リノベーションマンション事業 「RESIDENTIAL MADE(レジデンシャルメイド)」を本格展開

三井不動産レジデンシャル株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:藤林清隆)は、リノベーションマンション事業「RESIDENTIAL MADE(レジデンシャルメイド)」の本格展開に着手し、本日よりWEBサイト(<http://www.31-rm.com>)を開設しましたのでお知らせします。

現在、日本における中古マンションのストックは約630万戸^{※1}に達し、新耐震基準を満たす良質なストックの増加とともに、2016年は首都圏において中古マンション成約件数が新築マンション供給戸数を初めて上回り、2017年も同様の状況が続くなど^{※2}、住宅取得における価値観の多様化がうかがえます。

このような市場環境を背景に、増加する中古マンションストックの活用を推進するとともに、変化する住宅取得ニーズに対応するべく、2018年4月にリノベーション事業室を新設し、リノベーションマンション事業「RESIDENTIAL MADE(レジデンシャルメイド)」を本格展開いたします。

本事業は、首都圏を中心に中古マンションを買い取り、リノベーション後に分譲を行うものです。すでに、東京都渋谷区恵比寿、東京都江東区豊洲などで事業化に着手しており、積極的に中古マンションの買い取りを進め、リノベーションマンション事業の拡大を図ってまいります。新耐震基準適合や駅からの距離、専有面積などの買い取り条件を定め、より良質で安心のすまいをお客様に提供いたします。

新築と中古それぞれの良さを併せ持ったリノベーションマンションを提供することで、多様化する住宅取得ニーズに応え、さらには循環型社会実現の一助となることを目指してまいります。

※1:国土交通省「分譲マンションストック戸数(平成28年末現在)」(http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk5_000058.html)

※2:公益財団法人東日本不動産流通機構調べ

■「RESIDENTIAL MADE」の特徴

これまで新築分譲マンションの開発・販売で培ってきたノウハウをもとに、首都圏を中心とした良質な中古マンションの選定・買い取りから、お客様のニーズに合致した空間づくり、安心して暮らしていただくための品質チェックやアフターサービスまで、製販一体の三井不動産レジデンシャルだからこそ実現するリノベーションマンションです。

(1) 新築分譲マンションのノウハウを活かした空間づくりと設備・仕様

新築分譲マンション事業で培ったノウハウをもとに、お客様のニーズに合致した空間づくりをします。

(2) 独自の品質チェックシステム「TRIPLE QUALITY GATE」

「構造」・「機能性」・「環境」の3つの観点から品質をチェックする「TRIPLE QUALITY GATE」を導入し、高品質な邸宅をご提供します。

(3) アフターサービスや「三井のすまいLOOP」などのサービス提供

安心して暮らしていただくための、保険・保証・アフターサービスや、三井不動産グループのメンバーシップサービス「三井のすまいLOOP」など、さまざまなサービスを提供いたします。

■「RESIDENTIAL MADE」のコンセプト

一邸の価値にこだわり、長年培った知識とノウハウを一邸に注ぐ。「安心を丁寧に仕立てる」という思いを込めた、三井不動産レジデンシャルだからこそ実現する新しい住まいのかたちです。



RESIDENTIAL MADE

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
 三井不動産レジデンシャル株式会社 市場開発部ブランドマネジメントグループ
 TEL : 03-3246-3456